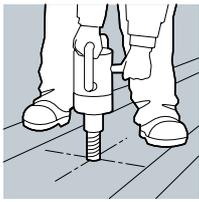
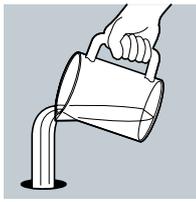


ガードコーン施工要領

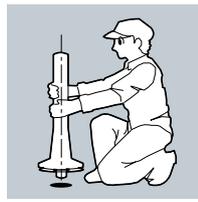
可動式 Kタイプ (対応品番：RBK,RBKC,RBMK,RBK5)



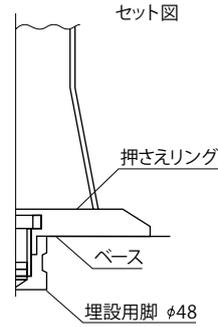
1.位置を決めコアドリルでφ60mm 深さ60mmの穴をあけます。



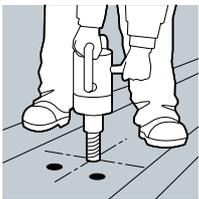
2.穴内の石粉を取り除き、エポキシ樹脂モルタル、またはエポキシ樹脂接着剤を約70%程度流し込んでください。



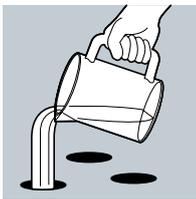
3.離型紙が付いていることを確認し、底面を舗装面に密着させるように脚部を穴に押し込みます。樹脂が硬化するまで養生をしてください。



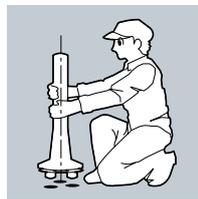
可動式 K3タイプ (対応品番：RBK3,RBKC3)



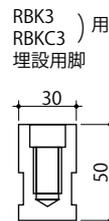
1.付属の型紙を置いて位置を決めドリルでφ50mm 深さ60mmの穴をあけます。



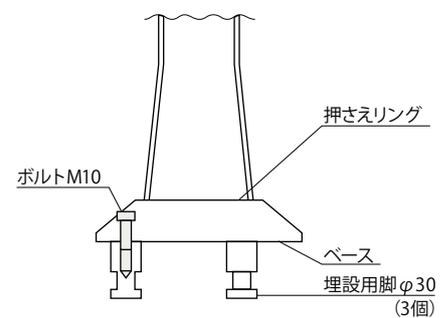
2.穴内の石粉を取り除き、エポキシ樹脂モルタル、またはエポキシ樹脂接着剤を約70%程度流し込んでください。



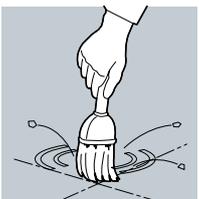
3.離型紙が付いていることを確認し、穴の中に埋設用脚3本を同時に挿入し、底面を舗装面に密着させます。樹脂が硬化するまで養生をしてください。



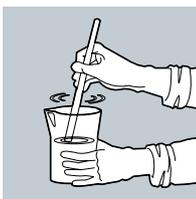
RBK3・RBKC3セット図



接着式 Sタイプ (対応品番：RBS,RBSC,RBMS,RBSS)



1.約3mm以上の部分的凸部がある時は、これを削って平滑にします。砂、ホコリ等を除去します。また、濡れた路面の場合は乾燥させてから作業してください。



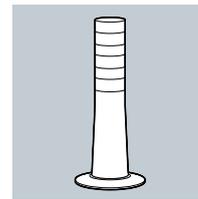
2.主剤、硬化剤、充填剤を2:1:6の比率で計量し、主剤に硬化剤を入れてよく攪拌します。(約2分間)これに充填剤を入れてよく混合します。(約2分間)



3.清掃した路面の所定の位置に、約200gの混合済み接着剤を、ほぼ均等の厚みに流します。

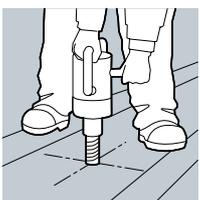


4.ガードコーンの接着面にある溝部にも、接着剤が溝からあふれ出るまで流し込みます。

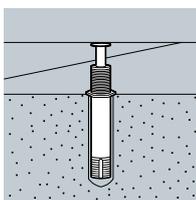


5.接着剤の配合開始時から約15分以内に、ガードコーンをセットし、垂直に立つように調整します。このまま1日放置して接着剤を硬化させます。

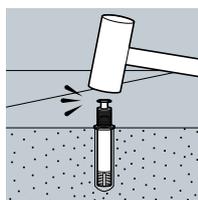
ホールインアンカー式 Hタイプ (対応品番：RBH,RBHC,RBMH,RBHS)



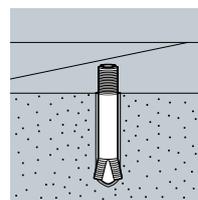
1.位置を決めドリルでφ17mm 深さ70mmの穴をあけます。



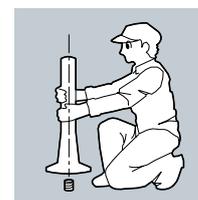
2.穴内の石粉を取り除き、舗装面にホールインアンカーのナットが接するまで押し込んでください。



3.ホールインアンカーの芯棒をハンマーで打ち込んでください。

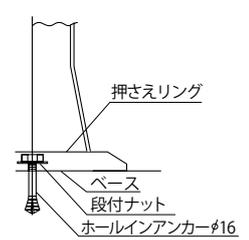


4.ホールインアンカーは完全に開脚し、固定されます。ナットを外してください。



5.ガードコーンを取り付けてください。

固定式セット図



※アスファルト舗装路面等の軟らかい路面の場合、接着剤を併用すればアンカーボルトの固定力が向上します。(接着剤を使用する場合、φ20mm深さ70mmの埋設穴の中に約50gのボンドを注入後、アンカーを固定してください。)